

三井住友海上火災保険株式会社

広報部 〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台 3-9

TEL: 03-3259-3111(代表)

www.ms-ins.com

2017年11月1日

～正確な損害状況の把握と迅速な保険金支払いを実現～
ドローンを活用した損害調査の本格開始について

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：原典之）は、11月1日から、ドローン（無人航空機）を活用した損害調査^(※)を本格的に開始します。

ドローンの操縦に熟練した社員による損害調査体制を構築することで、立ち入り困難な事故現場や広範囲にわたるソーラーパネル等の損害調査において、ドローンで空撮した映像や写真に基づき、これまで以上に正確な損害状況の把握や情報収集が可能となります。さらに、太陽光パネル等の損害確認には、サーモセンサーを積載したドローンを活用することで、迅速かつ効率的な損害調査を実現します。

三井住友海上は、今後もお客さまに選ばれ信頼される保険会社を目指して、迅速かつ適切な保険金支払いに努めていきます。

(※) 当社は、民家や私有地の上空などを除き、事前申請なしに飛行可能な包括許可を取得しています。

1. ドローンを活用した損害調査の概要

(1) 開始日：2017年11月1日

(2) 対象種目：自動車保険・火災保険・新種保険 等

(3) 活用方法：①火災・台風等で損傷した建物の損害調査や車両転落現場・土砂災害現場等の立ち入り困難な場所での事故原因調査
②目視では損害確認が困難な太陽光パネルの損害調査
③広大な敷地や工場・倉庫等の高所で発生した事故の損害調査
④初期の情報収集を目的とした大規模な事故や自然災害発生時など、緊急時の危険場所の確認

2. 背景

当社は2015年9月から海上保険分野で専門チームを立ち上げ、ドローンを活用したリスクコンサルティングサービスを提供しているほか、2016年4月に発生した熊本地震では、損害状況の把握に困難な工場の損害等、企業向け地震保険の損害調査にドローンを積極的に活用してきました。こうした中、さらなる活用の幅を拡大すべく、ドローンを活用した損害調査体制を整備することで、迅速かつ適切な保険金支払いを実現します。

3. 今後の展開

より多くの損害調査において、ドローンの活用を検討していくほか、ドローンの自律飛行や撮影映像の加工・分析を通じて、迅速かつ効率的な損害調査を目指していきます。



<損害調査に活用するドローン>

以上